

- 主催: 国立大学図書館協会東北地区協会 ■後援: 東北地区大学図書館協議会
- 企画: 「職員の企画・運営による職員のためのワークショップ」企画運営スタッフ(第10期)
- 日時: 2019年2月1日(金)11:00～16:05(5時間)
- 会場: 東北大学附属図書館 農学分館(宮城県仙台市)

【講演とワークショップ】

教え方のヒントは日常の中にあるところがある

～思い込みを捨てれば改善策は見えてくる～

仁上幸治 (図書館サービス計画研究所 代表)



<目次> =====	
第1部 講演	5. 結論
0. はじめに	
1. 講師自己紹介	第2部 ワークショップ
2. 現状と課題	■ 1. 参考文献
3. 固定観念を捨てる	■ 2. 講師紹介
4. 改善の条件	
	=====

0. はじめに * * * * *

クサガメ

名前はワカメ
爬虫類＝下等動物？
寝てばかり？
鈍足？

m(θ・・θ)m

固定観念

今日のキーワード
“動画”

八洲学園大学特別講座 CM

自己紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ)
図書館サービス計画研究所(トサケン)代表
元・帝京大学 総合教育センター 准教授

元・早稲田大学図書館司書

非常勤講師(法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美林大学、和光大学、玉川大学、日本女子大学、専修大学)
クサガメを室内放し飼い+猫=共存(〇);

ビデオ3

窓枠から落下

受講生に質問

このカメ動画「窓枠落下」編を見て、図書館員の現状と課題についての教訓を述べてみよう。

学生の回答 T大学 2013

「図書館員は厳しい状況に置かれているので、内にももって
いてはダメで外の世界へ積極的に出ていく姿勢が必要だ」
パチパチパチ！！

学生の回答 NJ大学 2018

「図書館員はスキルと知識が必要なので、定着させるためにもあきらめず何度も挑戦し繰り返すことが大事だ！」

「図書館員は日々追加される新しい資料について学び続け

なければいつか司書として墮落してしまう」

某S大学の授業評価最終課題レポートの記述より
「先生の授業に出会えて本当に良かったです。過去最高の
講義でした！お世話になりました！」

お願い

本講演はスライドショー＝ライブ
配付資料は先読み無用
スライドのノートテイク不要
資料は後日ホームページ公開
感想と質問のメモ

講演

●過去の講演
通算 325 本
本日講演、326 本目

仁上講演の年別回数
ライブ回数ランキング
矢沢永吉 2000 回
さだまさし 4300 回

昨日までの講演ツアー

鳥取
松江
広島(オフ会のみ)
北九州
山口
岡山
7泊8日で6講演

仁上講演空白県

宮崎、高知、山口、島根、富山
今回、島根、山口で初講演
残るは、宮崎、高知、富山
押しかけ勝手にセミナー？

「研修会の主催者総括の言葉オブザイヤー」
2017年の大賞
「目からウロコどころか甲羅が落ちました」

【2017.10.13(金)-山形県図書館研究大会(酒田市)】

(トサケン非公式認定) #目から甲羅
鶴岡市立図書館・鶴岡市郷土資料館
松浦幸子館長
<https://www.facebook.com/koji.nikami.10/posts/1261646040607151>

トランスフォーム

Libraries Transform

<http://www.librariestransform.org/#because>

ALA Launches “Libraries Transform” Campaign (Library Journal, 2015/10/29)

<http://lj.libraryjournal.com/2015/10/advocacy/ala-launches-libraries-transform-campaign/>

変態

さて、日本ではどうか？

図書館ブランディング
図書館員ブランディング
昨年末のイベント

2018.12.15(土)16:00～17:00 仁上講演通算 300 本記念セミナー講演「目から落ちたのはウロコか甲羅か」新宿コズミックセンター小会議室(他、お楽しみ企画) + ライブラリアン大交流会@大久保

交流
楽しみ

図書館員のイメージ問題

映像見ながら飲み会
1)2015.06.09-KLL(関西ライブラリアンリンク)企画】仁上幸治さんと語る交流会「映像の中のトンデモ図書館員たちー図書館ブランディング講座番外編ー」
『図書館員のための PR 実践講座』増刷記念講演会 + 交流会
Biz Library (ビズライブラリー)(大阪駅前)

偽装の夫婦

日本テレビ 2015.10-

www.ntv.co.jp/fake

人嫌い

(人前が苦手)

図書館員のスタイリング

2017.06.12(月)-ラピッツワイドトークイベント「図書館とその周辺で働く人向け 魅力あふれるプロを目指したい人のスタイリングセミナー」

「映像の中のトンデモ図書館員たちーステレオタイプを超える自分ブランディング」

WIN WIN(東京品川区五反田)

(勝間和代さんプロデュースのゲームカフェ)

[案内]

<https://www.facebook.com/events/1873822662906298/>

[CA 記事]

<http://current.ndl.go.jp/node/33958>

プロデューサー 広瀬容子氏

スタイリスト 竹岡 眞美氏

おみやげ

「図書館とその周辺で働く人へ 魅力あふれるプロになりたい人のための マミ流スタイリング」

竹岡眞美 監修, 広瀬容子 執筆, ラピッツワイド, 2017.5, A5判, 64p.

頒布価格:1000 円(税込)

目次

はじめに

図書館で働いている人の悩み

「使用前」の私

「派手すぎない？」恐怖症

図書館関係者に地味な人が多いのはなぜか

具体的にどうすればよい？

美醜や年齢や体型は関係ない

おしゃれはお金をかけることではない

過剰な自意識を捨てる訓練を

おわりに

イメージ戦略
味方を増やせる専門家のイメージは？

図書館員という職業

『ミラクルたのしい！ハッピーお仕事ずかん』
西東社 (2012/4/20) 1,026 円 サイズ:B6判 384 ページ
/ISBNコード:9784791618750

http://www.seitosh.co.jp/245_3641.html

女の子が「なりたい！」と思う憧れの職業 223 種について、かわいイラストで解説。楽しいところは？ たいへんなところは？なる方法は？お給料は？などの疑問にお答えします。

【「ハッピーなお仕事って」

「図書館司書」の項目なし;;

「学芸員(キュレーター)」はあり！

イメージ問題

出発点

ゼロから？

マイナスから！

(泣)

組織体質

お役所仕事

コームイン体質

自分ブランディング

味方づくりは自分ブランディングから

同僚に好かれる

上司に頼られる

館長に自慢される

親組織に重宝される

利用者に仲間と認められる

子供に憧れられる

印象づけ

印象の総和

評価

●参考文献

・仁上幸治「学術情報リテラシー教育における広報イメージ戦略—司書職の専門性をどう訴求するか—」『情報の科学と技術』55(7), 2005.7, pp.310-317. (特集:図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?) [CiNii 全文 PDF あり:1014KB]

<http://ci.nii.ac.jp/naid/10016618361>

事前課題アンケート

2019.02.01(金)-国大図協東北地区研修--事前課題アンケート

<https://goo.gl/forms/OcUtXTbwQBahfTfC3>

事前課題文献の復習

■事前課題論文

仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法: 印象づけを重視した

構成・演出の改善の試み」(『医学図書館』52(1)p.15-24)

<https://drive.google.com/file/d/0BzjiFUntj382ZjBiMDZjYmItYzMOYS00OTNlWFhMDUtYTNmNTY4MmNkYTl2/view?hl=ja>

問題意識

なぜ図書館員の有能さを印象づける必要があるのか
なぜ図書館員にはプレゼン上手であることが求められるのか

オリエンテーション

4つのコンセプト

- 1) 驚かす
- 2) 対話形式
- 3) 旬の話題
- 4) ワクワク感

構成・演出の9つのポイント

- 1) 意外性のあるイントロ、
- 2) 対話によるツカミ、
- 3) 違いの印象づけに絞る、
- 4) 個人尊重の気配り、
- 5) 直感的に理解できる例題、
- 6) グローバルネットワークの驚き、
- 7) マナー指導は控えめに、
- 8) 期待感を膨らませる予告編、
- 9) ワクワク感で終わる、の9つのポイント

講習会

5つの極意

1. 大胆な広報作戦
2. 適切な例題
3. ポイントをしばった説明
4. 魅せるプレゼンテーション
5. お得感の演出

例題は聞く人の気持ちで作る

- 1) 専門知識の噛み砕き力
- 2) わかりやすい説明の技術
- 3) 文字と画像の表現力
- 4) ビジュアル表現のセンス
- 5) 初心者の内面への想像力

演出の 10 のポイント

- 1□説明者の視線は相手に向いていたか
- 2□説明者は相手の視線をコントロールしていたか
- 3□説明は対話型で強弱・緩急があったか
- 4□スライドは文字が適切な大きさと読みやすかったか
- 5□提示方法は映像・画像を適切に活用していたか
- 6□例題は旬でわかりやすいものだったか
- 7□初心者の内面への想像力は十分だったか
- 8□お得感が残るように配慮されていたか
- 9□図書館員の専門性への信頼・尊敬を向上させたか
- 10□図書館員の人物への好感度を向上させたか

今日のキーワード

“演出”

2. 現状と課題

お悩み

利用者側

- 集まらない
- 聞いてくれない
- わかってくれない
- 使ってくれない

3.固定観念を捨てる

ボヘミアン・ラプソディ

Brian May(2007)

博士論文

「黄道のダストクラウドにおける放射速度の調査」

Queen の話題を

データベース講習会に

つなげるには？

お悩み

持ち時間が足りない

CM 編

(中略)

CM024

【コカ・コーラ】TVCM「Anthem」篇 60 秒 Coca-Cola ?15 秒

https://www.youtube.com/watch?v=dbguqDrUvFw&list=PL08HLhKxtWfuqHMqPMXwJNFIHC_je_04&index=4

時間が短いと伝わらない？

→足りないのは工夫

教訓

足らぬ足らぬは工夫が足らぬ

(戦時中生活標語より)

お悩み

伝えたい内容が伝えきれない

多すぎる？

→無駄な内容は盛り込まない！

お悩み

様々な利用者に配慮が行き届かない

→利用者類型を絞って、類型別を実施

お悩み

説明に飽きる

ダメな典型どおりでは？

→飽きさせない工夫を！

4.改善の条件

指導機会の工夫

学生の興味関心必要に合わせる

入学時:オリエンテーション

1 年次:『情報の達人』第 1 巻「図書館活用」、第 3 巻「レポート作成法」

2 年次:『情報の達人』第 2 巻「発表法」

3 年次:データベース講習会

非常に役立つ内容

例)

件名の効用

『情報の達人』第 3 巻「

授業の中の「件名」

(1)3年生

講義を受け、基本的な検索スキルと相手に自分の意見をまとめ、伝えるスキルを上げることができた点は、大きく成長した点だといえる。資料の検索に関して、講義を受ける前の私は、OPAC を開き「キーワード検索」から資料を探していることが多かった。しかし、講義で「件名検索」の方法やブラウジ

ング、チェイニングによって資料を検索する方法を学び、効率的かつ便利な方法だということが、講義や実習課題を通して知ることができ、継続することにより、自分のスキルにすることができた。

(2)1年生

朝一番の講義であったが眠くなることがなかった。それは映像やディスカッションがあり楽しい講義であったからではないかと考える。また、回を重ねるごとに授業運営がよくなっていた。講義内容では司書の現状について知ることができより具体的に司書について知れた。

図書館教育・図書館利用者教育の問題

高校まで何を教えているのか

大学で教えないで卒業させると

社会人はどこで学べるのか

【1】超有名映像教材の視聴

・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD 版 33 講)、紀伊國屋書店、2007.2.28 ★ビデオ・スライド・テキスト・ウェブ資料の総合パッケージ

『情報の達人』ホームページ

<https://www.kinokuniya.co.jp/01f/tatsujin/>

『情報の達人』第 3 巻「レポート・論文を書こう！誰にでも書ける 10 のステップ」視聴

第 5 講 データベースの検索 (7 分)

ビデオ教材の視聴

『情報の達人』第 1 巻

レポート・論文を作成する手順と方法 10 のステップ

ステップ 1 テーマの選択

ステップ 2 事前調査

ステップ 3 仮アウトラインの作成

ステップ 4 関連文献の調査

ステップ 5 文献の入手

ステップ 6 文献の読解と整理

ステップ 7 最終アウトラインの作成

ステップ 8 執筆・校正

ステップ 9 出典の表示

ステップ 10 仕上げ

ビデオ視聴

★『情報の達人』V3-0「レポート・論文を書こう！」

第0講 総論

(15 分)

討論

ビデオの感想

感じたこと、思ったこと

【3】今回のテーマ解説

件名の活用

『情報の達人』第 3 巻「レポート・論文を書こう！」

第5講 データベースの検索

データベースの検索 ステップ 4～5 その 2

●スライド 2/18

第 5 講の内容

主題調査と所在調査の方法

(1)件名による検索

(2)さまざまな探索方法

(3)文献の入手

●スライド 3/18

(1)件名による検索

●スライド 4/18

コンサートに関する図書を探す

タイトル(書名)=コンサート

↓

◎まちおこしコンサート

◎コンサートの社会学

◎私のコンサート人生

×手づくりの演奏会

●スライド 5/18

演奏会を追加してみる

タイトル=コンサート OR 演奏会

↓

◎まちおこしコンサート

◎手づくりの演奏会

×ステージから贈るハーモニー

●スライド 6/18

書誌事項を確認

タイトル まちおこしコンサート

著 者 中崎秀夫

出 版 社 上北出版

: :

件 名 音楽会

分 類 760.69-

●スライド 7/18

件名を使って検索

件名=音楽会

↓

◎まちおこしコンサート

◎手づくりの演奏会

◎ステージから贈るハーモニー

●スライド 8/18

なぜ検索されたのか

タイトル 件名

まちおこしコンサート 音楽会

手づくりの演奏会 音楽会

ステージから贈るハーモニー 音楽会

●スライド 9/18

件名(件名標目)とは

・図書のテーマ(主題)を、あらかじめ決められた言葉で表現したもの

(検索のための用語リストから選ぶ)

・タイトルなどで検索 → 結果を表示 → 件名がわかる → 件名で検索

●スライド 10/18

分類(分類記号)とは

・図書のテーマ(主題)を、「分類表」の記号(数字)で表現したもの

・日本の多くの図書館では「日本十進分類法」(NDC)を採用

・タイトルなどで検索 → 結果を表示 → 分類がわかる → 分類で検索

●スライド 11/18

(2)さまざまな探索方法

●スライド 12/18

さまざまな文献の探し方

ブラウジング…書架を眺めて拾い読み

チェイニング…芋づる式(参考文献などをたどる)

モニタリング…雑誌の最新号などを常にチェック

●スライド 13/18

(3)文献の入手

●スライド 14/18

所在調査の前に

・作成した文献リストを確認

・入手の優先順位をつける

●スライド 15/18

所在調査

・自分の図書館に所蔵されているかは OPAC(所蔵目録データベース)などで検索

・他の図書館の所蔵は総合目録などで検索

●スライド 16/18

・自館に所蔵されている場合

・閲覧

・コピー

・貸出

・予約(貸出中の場合)

など

●スライド 17/18

自館に所蔵されていない場合

・購入希望(リクエスト)

・取り寄せ

・訪問利用

など

●スライド 18/18

第5講のまとめ

件名などを使って入念な主題調査を

討論

件名についてどう説明するか

NDL Online

<https://ndlonline.ndl.go.jp/#/>

詳細検索

タイトル検索

ブラウジング

詳細書誌

件名を調べる

件名で検索

分類で検索

チェイニング

まとめ

件名の工夫と威力

実感できましたか?

件名検索(補足)

件名を探し件名で探す中級技→配付資料2

詳細検索

タイトル検索>件名検索>適切な件名をメモ>ブラウジング

とチェイニング>文献リストの作成>注・引用文献に成型して通番を付与

(1)基本件名標目表(BSH)

日本図書館協会件名標目委員会

<http://www.jla.or.jp/bsh/>

(2)国立国会図書館件名標目表(NDLISH)

<http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh>

1)『国立国会図書館件名標目表 2008 年度版 序説』

http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/ndl_ndlsh.html

- 2)『国立国会図書館 件名作業指針』
<http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/bunruikenmei.html>
 3)『国立国会図書館件名標目表 細目一覧』<同上>
 4)Web NDL Authorities (開発版)
<http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh>
<http://iss.ndl.go.jp/ndla/about/>
 5)ダウンロードページ
<http://iss.ndl.go.jp/ndla/download/>
 メインページ > Web NDL Authorities について > 一括ダウンロード用ファイル

(3)ダウンロードと保存の手順:

- 1)ダウンロード
 ・[TAB 区切りテキスト形式データ]をクリックしてダウンロード → 「ndlsh-tsv.zip」
 2)解凍
 ・「ndlsh-tsv.zip」を解凍ソフトのアイコン上にドラッグ&ドロップ → 解凍された「ndlsh-tsv」名のフォルダ内に「ndlsh-tsv.tsv」というファイルができる
 3)ファイル上の文字のテキスト化
 ・メモ帳を起動 → 「ndlsh-tsv」名のフォルダを開き、「ndlsh-tsv.tsv」ファイルのアイコンをメモ帳の画面上にドラッグ&ドロップ → 「ndlsh-tsv.tsv」名のファイルができる
 4)「ndlsh-tsv.tsv」を開いて、[Ctrl] + [a] (すべてを選択) → [Ctrl] + [c] (コピー) で全文字のコピー
 5)EXCEL 表の用意
 ・Excel 起動 → [Ctrl] + [a] (すべてを選択) → [セルの書式設定] → 表示形式で「文字列」を選択
 ・これで各セル内にある日付・時刻や分類の「007.4」などの文字列の行頭の「0」(ゼロ)が自動消去されるのを防げる。
 6)EXCEL 表の作成
 ・(5)の画面内の左上角セルをクリック → [Ctrl] + [v] (貼り付け)
 ・これで(4)でコピーしてある全文字が(5)の上にコピーされる
 ・罫線を加えて見やすくするには、これを開いた状態で、[Ctrl] + [a] (すべてを選択) → フォント → 罫線 → 田。
 ・行・列の幅を調整するには、欄外の境界線をドラッグする。境界線上をダブルクリックすると最長のセルに合わせて調整される。
 7)EXCEL 表の保存
 ・(6)で開いてあるファイル → [名前を付けて保存] → ファイル名:NDLSH.xls
 ・これで NDLSH が EXCEL 一覧表形式で自分のモノ!

【3】件名典拠の検索

- Web NDL Authorities (国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス):
<http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh>
 ・リンクをたどって開くには…
 国立国会図書館:
<http://www.ndl.go.jp/>
 →蔵書検索→NDL-OPAC:
<https://ndlopac.ndl.go.jp/>
 [検索機能のみを利用する。(ゲストログイン)]→詳細検索→
 詳細検索画面の入力欄の下にある4つのリンク:
 [著者名・件名典拠検索][各種番号・コード][NDLC][NDC]
 の[著者名・件名典拠検索]をクリック

・Web NDL Authorities は、国立国会図書館で作成し、維持管理する典拠データを一元的に検索・提供するサービスです。サービスの概要については、「Web NDL Authorities について」をご覧ください。最新のお知らせ「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス(Web NDL Authorities)」の本格サービスを開始しました(2012年

1月6日)
 「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス(Web NDL Authorities)開発版」を公開しました(2011年7月7日)

「Web NDL Authorities について」

<http://iss.ndl.go.jp/ndla/about/>

1. サービスの概要 | 2. 典拠データとは | 3. 典拠データの提供範囲・作成基準 | 4. 典拠データの作成・提供における個人情報の取扱いについて | 5. 利用上の注意

機能説明

RDF モデルについて
 SPARQL について
 一括ダウンロード用ファイル
 新設件名等の RSS 配信
 Web NDLSH からの変更点
 利用条件
 ヘルプ
 お問い合わせ

グラフィカル表示

◎解説:

・詳細情報だけでなくグラフィカル表示を使うと、上位語・下位語・関連語等を直感的に理解できる。
 ・件名標目を見つければ、もれとノイズの少ない効果的効率的な図書検索ができる。

件名標目による芋づる式検索

件名から分類を探す

・件名標目を見つければ、詳細情報ページで分類記号(番号)がわかる。
 ・件名標目と分類記号とは相互対応している。
 ・両方をうまく行き来すれば自分のテーマに適した件名と分類を見つけることができる。

4)詳細情報ページの分類記号の欄に記載されているNDLCとNDCをクリックして、さらに関連する件名標目を見つけて、メモ帳にコピーする。

5)以上を繰り返して、使えそうな件名標目をできるだけ多数集める。

6)集めた件名標目を使って、NDL-OPAC の件名欄で図書を探す。一般の単行書の他に、統計・年鑑・白書なども見つかる。

7)ヒットした図書の書誌データをメモ帳にコピーしておく。

8)あとで図書の現物を入手するため、情報を整理しておく。

M112 (NDLC)

国立国会図書館分類表(NDLC)を使ってみる

検索力さらにアップ!

NDL の解説ページをとことん開いて熟読しまくろう!

何のためのレポート?

レポート・論文を作成する手順と方法 10 のステップ

- ステップ 1 テーマの選択
 ステップ 2 事前調査
 ステップ 3 仮アウトラインの作成
 ステップ 4 関連文献の調査
 ステップ 5 文献の入手
 ステップ 6 文献の読解と整理
 ステップ 7 最終アウトラインの作成
 ステップ 8 執筆・校正

ステップ9 出典の表示
ステップ10 仕上げ

まとめ

情報資源を探す仕組み
図書を探す「件名」の仕組みを知る
～膨大な所蔵資料の中から最適な資料を検索するための
数々の工夫～

ミニレポート

1)『情報の達人(テキスト)』第3巻「レポート・論文を書こう！」
第5講 データベースの検索

★以下の点を理解しましたか？(5点満点評価)

【1】「タイトル」検索から「件名」検索へという流れがわかりましたか

【2】「日本十進分類法(NDC)」の分類(分類記号)の役割がわかりましたか

【3】「ブラウジング」(拾い読み)がわかりましたか

【4】「チェイニング」(芋づる式)がわかりましたか

【5】「モニタリング」(最新号チェック)がわかりましたか

【6】「所在調査」のための、OPAC や「総合目録」の使い方がわかりましたか

【7】データベースの活用について自分が軽視していた点、
挑戦すべき課題(記述 200 字程度)

【2】事例研究

- 1)現場では件名をどう教えているか？
- 2)その教え方で聞いてくれるか、伝わるか、わかるか？
- 3)プロの専門性の評価につながっているか？

【3】教訓と討論

どこが弱点か
なぜ改善されないのか
改善するにはどうすればよいのか

【4】まとめ

「件名」は図書検索の要
「件名」を上手に教えられれば尊敬を得られる
「件名」指導法は講習会の試金石
以上

スタッフ側

人によるバラつき
(知識・技能・姿勢)
持続的発展可能性
費用対効果

学生の気持ち

伝えたい、伝える、伝わる
どうせ覚えてない

教訓

諦めが肝心

誤解

思い込み
工夫不足
勉強不足
自己中姿勢

対策

内容を減らす

印象づけに絞る

ツカミが大事

市販教材の活用

例)『情報の達人』

詳細内容は別な機会に譲る

成果が目に見える対策

一網打尽に捕捉

動画で勝負

情報メディアの活用

第1回

授業オリエンテーション

司書教諭課程

(中略)

情報リテラシーの指導専門家を育てる授業

—生徒・同僚教員・上司に信頼される能力・意欲・姿勢を今
から身に着けよう！—

第10回

プレゼンテーション(2) リハーサル

司書教諭課程

(中略)

話の転換点を聞き手に明確に伝える！

—区切り、メリハリ、強弱、緩急を意識的に—

情報サービス演習 B(情報検索)

玉川大学通信教育部スクーリング

●玉川大学通信教育部図書館司書課程

情報サービス演習 B

(情報検索)

2016 年度 夏期第Ⅲ期

(中略)

討論

3. ワークショップ

要領説明

ワークショップ

1.自己紹介+自分課題 2分 + 質疑 2分 = 持ち時間

4分×5名=20分

タイマー横目確認

「以上です」でチャイム鳴る

2.グループワーク 40分

3.発表

5分 + 質疑 5分 = 持ち時間 10分×6グループ=60分

4.全体討論

5.投票

ひとり1票(自グループ以外に)

6.まとめ

理想形の提案(説明+実演)

オリエンテーション

ガイダンス

講習会

など

自由

持ち時間設定は自由

省略自由

会場・機器・配付物などは仮想あり

必ず入れる要素

冒頭
山場
終結

発表
スライドショー
(手動紙芝居)
全員発言

グループワーク
ワークショップ
1.自己紹介+自分課題 2分 + 質疑2分 = 持ち時間
4分×5名=20分
タイマー横目確認
「以上です」でチャイム鳴る
2.グループワーク 40分
3.発表
5分 + 質疑5分 = 持ち時間 10分×6グループ=60
分
4.全体討論
5.投票
ひとり1票(自グループ以外に)
6.まとめ

発表
ワークショップ
1.自己紹介+自分課題 2分 + 質疑2分 = 持ち時間
4分×5名=20分
タイマー横目確認
「以上です」でチャイム鳴る
2.グループワーク 40分
3.発表
5分 + 質疑5分 = 持ち時間 10分×6グループ=60
分
4.全体討論
5.投票
ひとり1票(自グループ以外に)
6.まとめ

講評
5.結論
結論
指導力養成研修
情報リテラシー教育担当者研修の復活
研修担当者研修
研修設計の研究

裏の結論
もつと大事なテーマ

本丸を攻める
リザーブ図書制度の本格導入の勧め

講演終了
ご参加ありがとうございました。

質疑応答

「教える」ライブラリアンのスキルアップ講座
【講演とワークショップ】
教え方のヒントは日常の中にあるところがある
～思い込みを捨てれば改善策は見えてくる～

仁上新刊のご案内

仁上 PR 本
初版完売御礼！
好評第三刷出来！
m(_)_m

講演会で即売サイン会
定価 1620 円(税込)
のところ
著者割引原価 1300 円(税込)
ワカメのイラスト入り！

参加者アンケート
おみやげ
直輸入「ALA」しおり
おひとり1枚
アンケート回答と引き換え
(^)/

アメリカ図書館協会
American Library Association (ALA)
おみやげ: ALAしおり
ALAGraphics
<http://www.alastore.ala.org/catalog.aspx>

主催者・参加者のみなさま
ありがとうございました。

m(_)_m

■付録1:参考文献
■付録2:講師紹介: 著書・論文・講演

* 質疑応答

■付録1. 参考文献

- 図書館映画・ドラマ
- ・仁上幸治「学術情報リテラシー教育における広報イメージ戦略ー司書職の専門性をどう訴求するかー」『情報の科学と技術』55(7), 2005.7, pp.310-317. (特集:図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?) [CiNii 全文 PDF あり:1014KB] <http://ci.nii.ac.jp/naid/10016618361> (解除;:)
- ・飯島朋子『映画の中の本屋と図書館』(2004/10)
- ・飯島朋子『映画の中の本屋と図書館(後篇) 映画の中の本屋と図書館(後篇)』(2006/04)
- ・飯島朋子『図書館映画と映画文献』日本図書刊行会, 2001.
- ・市村省二「映像メディアの知的活用法を探る-図書館・図書館

貝が登場する映画を題材として」『情報の科学と技術』55 巻 7 号, 2005.

- 図書館映画サイト
- ・図書館映画データベース(市村省二さんの web ページ) <http://www.libcinema.com/>
- ・めだかの学校・映画の中の図書館 http://tab.cside5.jp/01_library/theme/06_mlivrary.html
- ・図書館映画(としよかんえいが)読書猿 Classic <http://readingmonkey.blog45.fc2.com/blog-entry-322.html>

- 図書館利用教育ガイドライン
- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガ

イドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
 ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
 ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3
 ・日本図書館協会図書館利用教育委員会『問いをつくるスパイラル—考えることから探究学習をはじめよう!』日本図書館協会, 2011.9.

●CI、デザイン、ブランディング

・ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント, 第3版. 東急エージェンシー出版部, 2010.
 ・菅谷明子『未来をつくる図書館: ニューヨークからの報告』岩波書店, 2003(岩波新書 新赤版 837). 735 円
 ・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略—デザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.
 ・仁上幸治「図書館の魅力は細部に宿る—「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』37(1), 2011.3, pp.8-14.
 ・李明喜(図書館のデザイン、公共のデザイン)『ライブラリー・リソース・ガイド』第20号
<https://www.fujisan.co.jp/product/1281695255/new/>

●サイン計画

・ドロシー・ボレット, ピーター・C.ハスキル編; 木原祐輔, 大橋紀子訳『図書館のサイン計画: 理論と実際』東京: 木原正三堂, 1981.9
 ・日本建築学会編『建築設計資料集成, 10: 技術』丸善, 1983, p119-140.
 ・日本建築学会編『建築設計資料集成【人間】』2003 第4章 環境・行動「サインシステム」
 ・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治共著「新図書館とサインシステム計画—UIによるデザイン統合システムの開発をめざして—」『早稲田大学図書館紀要』no.27, 1987.3, pp.58-90.
 ・植松貞夫「大学図書館の建築と設備」1997

https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/tojo/archive/Choken/1997/choken1_8.html

・中川卓美編著『サインはもっと自由につくる—人と棚とをつなげるツール—』日本図書館協会, 2017.5.[1,600 円]

●サイン計画(商品カタログ)

・日本ファイリング: サインシステム

http://www.nipponfiling.co.jp/products/lineup_2/signature/index.html

・【彩ふく】図書館用品専門店

<http://www.saifuku.com/>

<http://www.saifuku.com/shop/v-muryo.html>

<http://www.saifuku.com/shop/v-catalog.html>

・ブッカー

<http://www.booker.co.jp/rightpage.htm>

■ACTUAL RESULT: <http://www.booker.co.jp/aa.htm>

・伊藤伊新社. 図書館用品総合カタログ(インターネット版)

<http://www.itin.jp/estimate/>

サイン: <http://www.itin.jp/estimate/index3.html>

・金剛

<http://www.kongo-corp.co.jp/08senmon/library.html>

●株式会社オプト

http://www.t-v.jp/opto_shop/index.html

図書館サイン 図書館サインシステム 施設案内 資料案内
 マグネットシート 館内サイン 館内 ...

http://www.t-v.jp/opto_shop/item.cgi

●株式会社スバジオ・シブタケ

<http://www.shibutake.com/sign/tosyokan.html>

●株式会社 アートプロデュース

<http://www.art-produce.co.jp/index.html>

<http://www.art-produce.co.jp/shop/index.php>

●『情報の達人』

・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.

・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8. 1993.8, pp.553-557.

・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.

・仁上幸治「『図書館の達人』から『情報の達人』へ—利用者教育映像教材の進化 15年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.

・『情報の達人』ホームページ:

<https://www.kinokuniya.co.jp/01f/tatsujin/>

●図書館グッズ

・図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成 21 年東京都図書館協会研究助成報告書), 2010.2, 33p.

・仁上幸治「グッズが図書館を元気にする!—暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器—」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手: 鈴木正紀]『大学の図書館』427., 28(5), 2009.5, pp.70-75.

・仁上幸治; 中島玲子; 石川敬史「笑顔を生み出す‘魔法’の戦略ツール—図書館グッズの研究・開発・普及活動—」『薬学図書館』55(2), 2010.4, pp.94-101.

●最新図書館事情

・岡本 真/森 旭彦『未来の図書館、はじめませんか?』青弓社, 2014.11

・まちライブラリーマイクロ・ライブラリーサミット実行委員会 2014 編『マイクロ・ライブラリー—人とまちをつなぐ小さな図書館』学芸出版社, 2015.5

・岡本 真 著, ふじた まさえ『図書館 100 連発』青弓社, 2017.5. ★他多数

●図書館員研修

1) 仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, pp.39-52.

<http://ci.nii.ac.jp/naid/110007.351240>

2) 仁上幸治「デジタルリソースのフル活用へ向けて—講習会の刷新からオンデマンド教材の開発まで—」『館灯』47., 2008.3, pp.30-47.

<http://ci.nii.ac.jp/naid/110007.7.21747>

3) 仁上幸治「なぜ研修の成果が出ないのか—現場で活かすための7つの秘訣—」『館灯』47, 2009.3, pp.47.-54.

<http://ci.nii.ac.jp/naid/1100071177.25>

■付録2. 講師紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 図書館サービス計画研究所 代表/元・帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書/非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学、和光大学・玉川大学、2018 から日本女子大学、専修大学)

◎電子メール: nikamikoji@yahoo.co.jp

◎ホームページ: <http://sites.google.com/site/nikamik23/>

◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン):<https://sites.google.com/site/tosaken23/>

◎教材開発・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店, 2007.2.

<https://www.kinokuniya.co.jp/01f/tatsujin/>

◎著書

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック—広報戦略の全面展開をめざして—』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381
- ・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房, 2002.10(新図書館学シリーズ第8巻), ¥1900
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』新訂版, 日本図書館協会, 2010.3(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, II-8)
- ・大学導入教育研究会編『よくわかるライフデザイン入門—大学生のための必須学習術—』第二版, 古今書院, 2011.2.10. 120p. ¥1900.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3
- ・仁上幸治『図書館員のための PR 実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房(2014年10月30日刊行) ★初単著

◎最近の論文 *多くは著者ホームページで全文公開

- 1) 仁上幸治「学術情報の生産・流通・利用・保存をどう教えるか—司書課程選択科目「専門資料論」に見る学生の学問の“常識”—」『現代人間学部紀要』第11号(2018年, 近日刊行予定)(分量超過のため今回は掲載見送り)
https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1C7RGVmb_J85WnRUQ-QmiAuitckdoy7F5
- 2) 仁上幸治「専門資格は情報リテラシーの質を保証できるか—司書課程科目「情報サービス論」受講生の読み書き話す能力に見る大学基礎教養教育の課題—」『和光大学表現学部紀要』17(2016), 2017.3, pp.63-84.
- 3) 仁上幸治「通信教育における図書館司書課程カリキュラムの問題点と改善案—情報サービス演習科目受講生の声にもとづく授業改善に向けて—」『論叢; 玉川大学教育学部紀要』2015, 2016.3, pp.171-194. [リポジトリ書誌データ][全文ダウンロード](2016.3.31 刊行, 6.29 リポジトリ公開)

◎最近の講演

2018年

- 20) 2018.08.27(月)トサケンセミナー(新宿)「忙しいを言い訳にしながら実はパソコンを使い倒していない図書館員のための超速成便利技講座」(5)Excel(1)・プレゼンテーション編(2) 新宿コズミックスポーツセンター小会議室
- 21) 同「10年後の未来図書館を見る～アメリカ図書館視察報告スライドショー～」(2)ヒューストン編(大学図書館・公共図書館編)
- 22) 2018.08.28(火)ALA・米国図書館研修報告会「10年後の未来図書館は見えただか?～アメリカ図書館視察報告のまとめ～」丸善雄松堂株式会社(浜松町ビル)9階会議室 内田橋庵(東京都港区)
- 23) 2018.09.08(土)トサケンセミナー(新宿)+図書館パートナーズ合同企画「イマドキの図書館チラシ事情～善意の工夫が基本を踏み外すと～」新宿コズミックスポーツセンター小会議室
- 24) 2018.09.14(金)-図書館スタッフ研修1日-研修『図書館 PR 実践講座～内部専門用語を外に開く～』日比谷図書文化館
★2018.09.30(日)-★トサケンセミナー(新宿) 13:00～18:30 (12:20～18:40 2 コマ 6 時間 20 分) 新宿コズミックセンター小会議室
- 25) トサケンセミナー:ツカミの研究講座(Ⅱ)「このツカミで学ぶ気になれるか?～予想外の導入部で学習意欲を引き出すための10か条～」 *今年#25が300本目
- 26) 2018.10.11(木)-トサケンセミナー(長野)「映像の中のトンデモ図書館員たち アラカルト」(長野県長野市)

- 27) 2018.10.12(金)-長野県立高校学校司書研修会「高校司書のためのPR実践講座—魅力訴求作戦の全面展開に向けて—」(続編 演題未定)長野県県庁講堂(長野県長野市)
★2018.10.14(日)-★トサケンセミナー(新宿) 13:00～18:30 (12:20～18:40 2 コマ 6 時間 20 分) 新宿コズミックセンター小会議室
- 28) 2018.10.19(金)-未来フェス+(プラス)in 札幌(未来図書館創造会議)「10年後の図書館はこうなる!」基調講演「10年後の図書館像から検証する図書館業務の今～進んでいる米国、遅れている日本は本当か～」/大喜利シンポジウム、デジタルメディア研究所+図書館サービス計画研究所共催、札幌学院大学大通サテライト(北海道札幌市)
- 29) 2018.10.20(土)-トサケンセミナーin 札幌「10年後の図書館像を見えつつ、目の前の仕事をテキパキ片付ける」ワークショップ「図書館員のための超速成便利技講座アラカルト」北海道武蔵女子短期大学 情報処理実習室(334)(北海道札幌市)
- 30) 同 講演「10年後の未来図書館を見る～アメリカ図書館視察報告スライドショー～」
★札幌市図書・情報館見学 交流会
- 31) 2018.10.22(月)-木村修一先生授業「図書館情報資源概論」公開ゲスト講義「映像の中のトンデモ 図書館員たち(アラカルト)」北海道武蔵女子短期大学 3号館 333教室(北海道札幌市) 16:20～17:50(90分)
- 32) 2018.10.23(火)-ヴィアックス職員研修(1)「図書館員のためのPR実践講座」※連続講座(全2回)ヴィアックス研修センター(鳩山ビル6階)(東京都文京区)[第2回は11.26(月)]
★2018.10.29(月)-トサケンセミナー(新宿) 13:00～18:30 (12:20～18:40 2 コマ 6 時間 20 分) 新宿コズミックセンター小会議室
- 33) 映像の中のトンデモ図書館員たち(アラカルト)
- 34) 「忙しいを言い訳にしながら実はパソコンを使い倒していない図書館員のための超速成便利技講座」(6)パワポ編(3)アニメーションの極意「目から甲羅のプレゼンテーション上達のコツ」
★2018.11.01(木)図書館総合展トサケンセミナー パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)
- 35) トサケンセミナー(A) 11:00～12:30(90分) メーカーズ・ラボ(30席)「10年後の未来図書館は見えただか?～アメリカ図書館視察報告スライドショー～」
- 36) トサケンセミナー(B) 15:15～16:30(75分) メーカーズ・ラボ(30席)「イマドキの図書館チラシ事情～善意の工夫が基本を踏み外すと～」
- ** トサケンセミナー(C) 16:30～17:45(75分)スピーカーズ・コーナーA(50席)「図書館×城」で地域は変わる～地元にもとからある城に光をあて、今、生まれているもの～
- 37) 2018.11.08(木)-相模原市立図書館スタッフ研修「小さな図書館の地域へのPR」(仮)相模原市立図書館大集会室(神奈川県相模原市)
- 38) 2018.11.22(木)a-図書館流通センタースタッフ研修「これからの図書館員像」(仮題)㈱図書館流通センター関西支社(大阪府吹田市)
- 39) 2018.11.22(木)b-夜トサケンセミナー(大阪)「(内容未定)」BAC Studio(大阪府豊中市)
- 40) 2018.11.26(月)-ヴィアックス職員研修(2)「図書館員のためのPR実践講座」※連続講座(全2回)ヴィアックス研修センター(鳩山ビル6階)(東京都文京区)[第1回は10.23(火)]
- 41) 2018.11.27(火)-千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会 学校司書ならびに学校図書館関係職員秋の研修会「学校図書館のPR実践講座～あらゆる機会をフル活用する」千葉県立千葉女子高等学校
- 42) 2018.12.15(土)15:40～18:40 新宿コズミックセンター小会議室 仁上講演通算300本記念セミナー
講演「映像の中のトンデモ図書館員たち」(他、お楽しみ企画)+忘年会
- 43) 2018.12.23(日)12:20～18:40(2コマ6時間20分)新宿コズミックセンター小会議室 +X マスライブセミナー

2019年

1) 2019.01.12(土)★トサケンセミナー(新宿)「情報のプロの存在感を魅せつける演出法を知る

～講習会とサイン計画の中でアイデンティティを印象づけるための10か条～」

第1部 講習会実践研究講座(#1)「一般人がほぼ誰も知らない「件名」の便利さをどう教えるか?～図書検索の目玉として図書を件名から探す・件名を探す手順～」

2) 同

第2部 サイン計画勉強会(#8)「札幌市図書・情報館のビジュアルデザインを見る～建築・設備・機器・内装・広報を貫くアイデンティティ統合～」

新宿コズミックセンター小会議室(2コマ6時間20分)

3) 2019.01.24(木)-鳥取大学附属図書館研修「なりたい図書館になるには」(仮)講演「図書館ブランディング超入門講座」(仮)鳥取大学附属図書館3階 多目的ルーム1(鳥取県鳥取市)

4) 2019.01.25(金)-島根県立図書館「公共図書館職員向け専門研修」松江合同庁舎601会議室(島根県松江市)テーマ「図書館PR実践講座」

第1部 図書館の認知度・利用度を上げる PR の極意～発想の転換による味方づくり戦略入門～

5) 同

第2部 図書館員像のステレオタイプを超える～組織的対外訴

求を担える能力と姿勢～

***2019.01.26(土)-トサケン広島交流会(オフ会)

6) 2019.01.28(月)-トサケン北九州研修「イマドキの図書館PR事情～善意の工夫が基本を踏み外すとき～」北九州市立八幡西図書館 1F セミナールーム(福岡県北九州市)

7) 2019.01.29(火)-ミラクル図書隊(九州)交流会「『創業を支援する』図書館活動」(仮)、やまぐち創業応援スペース mirai365(山口県山口市)

8) 2019.01.30(水)-岡山県立図書館 図書館職員等研修講座(専門研修)「パスファインダー作成(2)」岡山県立図書館 [(1)は1.15開催]

9) 2019.02.01(金)-国立大学図書館協会東北地区協会主催平成30年度職員研修「教える」ライブラリアンのスキルアップ研修」講演とワークショップ、東北大学附属図書館農学分館(宮城県仙台市)

10) 2019.02.02(土)-MULU 茶話会「図書館見学を考えなおす～CIと利用者教育の視点から～」名取市図書館(宮城県名取市)

11) 2019.02.05(火)-いわき市立いわき総合図書館館員研修「図書館PR実践講座～また来たくなる、みんなの役に立つ図書館づくり～」いわき市立いわき総合図書館(福島県いわき市)

★仁上幸治ホームページにて全文・資料等公開中。

<https://sites.google.com/site/nikamik23/lectures>

(にかみ・こうじ/配付資料/2019.2.4作成、2.8増補)■